

# うらさと

学校だより H29

29. 4. 14

NO. 1

文責 片桐芳之

## 12名の1年生入学 全校児童57名でスタート 始業式 「出会いと関わりあい」「あいさつ」を大切に

### <始業式での校長の話>

浦里小学校の周りにも春がやってきました。学校周辺の木の芽もふくらみ、もうじき花が咲きそうです。

2年生から6年生の皆さんは、それぞれ1年ずつ進級をしました。おめでとうございます。3月まで1年生だった皆さんは2年生になりましたね。「2年生の皆さん！」というように、新しい学年を言われてもまだピントこないかもしれませんね。

担任の先生も変わりましたね。ちょっと不安もあるかもしれませんが、学年の変わり目は自分を変えるチャンスでもあります。

皆さんは新しい学年になってどんな自分になりたいですか？ ちょっと考えてみてください。自分の良さを十分発揮して、自分の得意とすることは一層力を入れて伸ばしましょう。また、反対に、自分の改めたいことは、どんどん変えていきましょう。

そこで、今日は今年1年、こんなことで自分を変えてほしいなということのお話をします。このことは、みなさん一人一人の心が育つことにつながってきます。

1つ目、人との出会いと関わりを大切にしてほしいということです。皆さんは、先生、友達、家族、地域の方などたくさんの人と関わって生活しています。どんな人も、自分にはない良さを持っています。その人との関わりを大切に、その人の良さを見られる自分をめざして下さい。

2つ目は、「あいさつ」です。人と人が共に生きる社会で大切なものの一つがあいさつです。「あいさつ」は、相手への思いやりの心です。「あいさつ」は、人の心を温かにする一番短い言葉です。「あいさつ」は、相手の心の窓を開きます。(仲良くなれる) 朝、友達や先生方があいさつをした時、返していますか。元気なあいさつが飛び交う浦里小学校にしましょう。

今話した、2つのことを大切に、一年間がんばってみて下さい。新しい学年が始まりました。浦里小学校の57名の皆さんが、仲良く、元気で、安全に学校生活を送れることを願っています。

4月6日、12名のかわいらしく、元気のよい1年生が入学してきてくれました。入学式でも、大勢を前に大きな声で返事をしたり、きかれたことにはっきり答えてくれたりと、とてもたのしい1年生です。

帰る時に毎日職員室や校長室のドアから「さようなら」と元気よくあいさつをして帰っていく子どもたちもいて、元気をたくさんもらっています。本当に嬉しいことです。

4月13日には、1年生を迎える会が行われました。6年生から名前を呼んでもらうと大きな声で返事をする立派な態度の1年生でした。

6年生が中心となってこの会を作り上げました。児童会各委員会から浦里小学校についての3択クイズを出して1年生に答えてもらおうというゲームでは、1年生のみんなが一生懸命答えようとする盛り上がりもあり、寒かった体育館の中で温かな関わりあいがありました。会終了後の退場場面では、6年生が1年生をおんぶして教室まで連れて行ってくれました。6年生の企画、1年生への思いやり、1つの会を成功させた行動力にたくましさを感じました。

**本年度の新任職員は2名です。よろしくお願いたします**

氏名	前任校	校務
片桐 芳之	上田第三中学校	学校長
桧森けさ恵	新任	心の教室相談員

